

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●3名の騎手が節目の勝利を達成

7月12日(土)、3名の騎手が節目の勝利を達成しました。まずは2回福島5日・第6レースではショウリバースが1着となり、同馬に騎乗した津村明秀騎手(美浦・フリー)が、史上69人目・現役27人目となるJRA通算700勝(1万1922戦目)を達成。さらに1回函館9日・第7レースではリアルクイーンが1着となって佐々木大輔騎手(美浦・菊川正達厩舎)が現役59人目となるJRA通算200勝(2306戦目)を達成すると、2回小倉5日・第10レースとして行われた八女特別ではルフトクスが勝利、松山弘平騎手(栗東・フリー)が史上31人目・現役15人目となるJRA通算1300勝(1万3260戦目)を達成しました。

●加藤征弘調教師がJRA通算700勝を達成

7月13日(日)の1回函館10日・第7レースではロートホルンが1着となり、同馬を管理する加藤征弘調教師(美浦)は、史上61人目・現役11人目となるJRA通算700勝(延べ6185戦目)を達成しました。

●ロンジンワールドベストレースホースランキング発表

国際競馬統括機関連盟から恒例の「ロンジンワールドベストレースホースランキング」(2025年1月1日から7月6日までに実施された世界の主要レースが対象/単位はポンド)が発表され、ランキング首位(127)には日本のフォーエバーヤング、愛2000ギニーやセントジェームズパレスSを勝ったフィールドオブゴールド、プリンスオブウェールズSを制したオンブズマンの3頭が並びました。日本調教馬はフォーエバーヤングのほか、ダノンデサイルが第7位タイ(125)、ソウルラッシュが第15位タイ(121)、クロワデュノール、ドゥレッツァ、ジャンタルマンタル、タスティエーラ、メイショウタバルが第20位タイ(120)にランクインしています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●兼六園スプリントはケイズレーヴ(愛知)【各地の主要3歳重賞】

兼六園スプリント(7月13日、金沢、1,500円)は、中国から追いつけた愛知からの遠征馬ケイズレーヴ(牡、父ブリックスアンドモルタル)がゴール前200円で逃げ馬を交わし、単勝1.3倍の支持に凭借着3度目の重賞制覇。サファイア賞(7月6日、盛岡、芝1,700円)は、先手を取った8番人気の伏兵サンカリブソ(牝、父タワーオブロンドン)が芝初挑戦で初めての重賞勝ち。ハヤテスプリント(7月8日、盛岡、1,200円)は、3番手を進んだ2番人気の北海道から大井への移籍馬キエティスム(牡、父ダノンレジェンド)が残り100円で差し切りました。星雲賞(7月10日、門別、1,200円)は、2番手から直線入口で前を捉えた単勝1.9倍で断然人気のネクストスター門別の覇者ミラクルヴォイス(牡、父ゴールドドリーム)が、4馬身差の楽勝を収めています。

●セラフィックコールらが参戦、7月21日のマーキュリーC(盛岡)

マーキュリーC(JpnⅢ、7月21日、盛岡、2,000円)は、JpnⅡ2勝馬セラフィックコールが筆頭格、以下ディープリボン、昨年の覇者クラウンプライド、カズタンジャー、メイショウフンジン、ライトウォーリア(川崎)の順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ジュライC〜人気薄のノーハーフメジャーズが優勝

現地7月12日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG1ジュライC(3歳上、芝1,200円)はN. カラン騎手が手綱を取ったノーハーフメジャーズ(牝4歳、父ケーブルベイ)がスタンドから離れた馬群から残り200円で抜け出すと、最後はG3・2勝の3歳馬ビッグモジョとの競り合いをクビ差で制してG1初制覇を果たしました。1876年に創設されたジュライC史上最高オッズとなる単勝67倍で勝利したノーハーフメジャーズは昨年9月のG3ワールドトロフィー(芝1,030円)で重賞初制覇。しかしその後はG1アベイドロンシャン賞5着、年が明けて5月3日のG3パレスハウスS9着、5月31日のアキレスS2着と3連敗を喫していました。なお、管理するR. ヒューズ調教師は2012年から3年連続してイギリスのチャンピオンジョッキーに輝いた名手。調教師としては開業11年目でのG1初制覇となりました。

●G1パリ大賞〜ルファールが差し切って重賞初制覇

7月13日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1パリ大賞(3歳牡牝、芝2,400円)はC. デムーロ騎手を背に中団でレースを進めたルファール(牡3歳、父ルアーヴル、J.C. ルジェ厩舎)が先に抜け出していたG3ハンプトンコートSの勝ち馬トリニティカレッジをゴール前でかわして優勝しました。ルファールは今年1月のデビューから2連勝しましたが、その後は5月のシュレーヌ賞が2着、6月の前走G1仏ダービーも17着に終わっていました。